

## 感染性胃腸炎にご注意ください！

糸魚川市では保育園を中心に、感染性胃腸炎が流行しています。本校でも先週から、腹痛・おう吐・下痢などの消化器系症状のみられるお子さんが増えています。

感染性胃腸炎は感染力が非常に強く、あらゆる年齢層の方に感染します。お子さんとご家族の体調管理と、感染防止のご協力をお願いいたします。

### ○感染性胃腸炎とは？

#### ①潜伏期間(感染から発症までの時間)

24～48 時間

#### ②症 状

腹痛・下痢・吐き気・おう吐・発熱(37℃台)

#### ③特 徴

- ・症状は 1～2 日で落ち着く。
- ・**症状が治っても、感染後、通常 1 週間、長い時は 1 か月間、ウイルスが便の中に排泄され続ける。**



#### 重要なポイント！

本人の症状が治まっても、周りの人が感染する可能性があります。

### ○登校前の健康観察をお願いします。

- ・上記のような症状がないか、お子さんの健康チェックをしてください。
- ・前の日の夜や、その日の朝におう吐や下痢をしている場合や、いつもと違う様子が見られた場合は、無理をさせずに、ゆっくり休養させてください。
- ・感染性胃腸炎が疑われる場合は、医療機関の受診をお願いします。

### ○感染性胃腸炎と診断された場合…

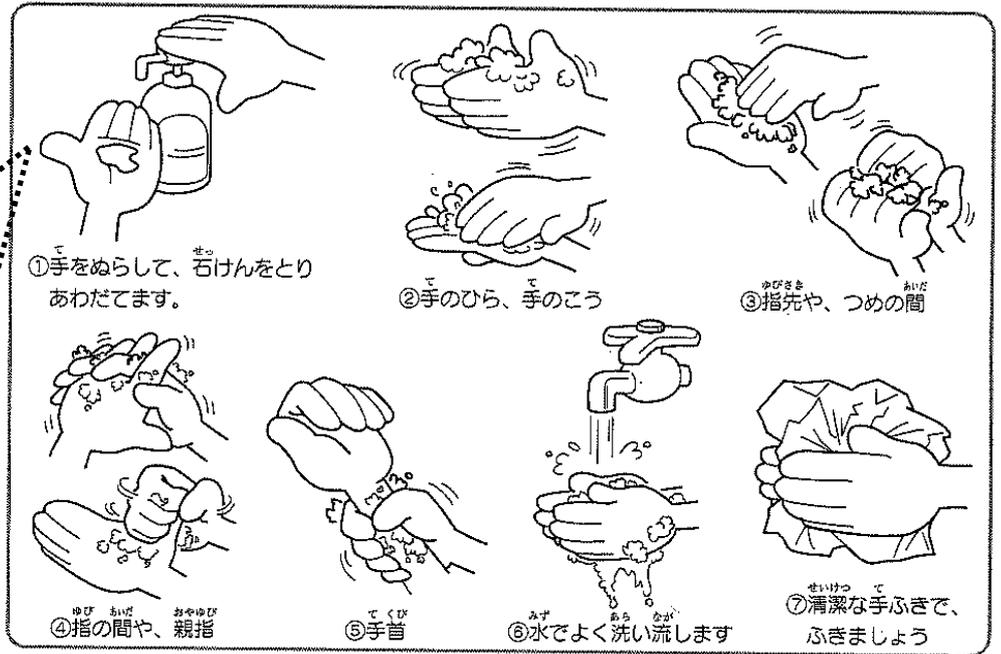
- ・学校に連絡をお願いします。
- ・出席停止となるので、登校許可書をお渡しします。
- ・医師による登校許可がありましたら、許可書を持って、登校となります。

# ○感染性胃腸炎の予防について



## 重要なポイント！

予防は「こまめな手洗い」です。  
調理前、食事前、  
トイレの後などに、  
石けんで手を洗い  
ましょう。



# ○おう吐物の処理について

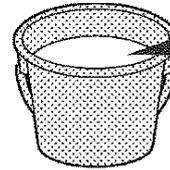
前回のお便りにも掲載しましたが、再度載せさせていただきます。

## 用意するもの

- ・ 白衣かエプロン
- ・ 不織布マスク
- ・ ゴム手袋
- ・ 次亜塩素酸ナトリウム (市販の塩素系漂白剤)
- ・ バケツ
- ・ 新聞紙
- ・ ペーパータオル

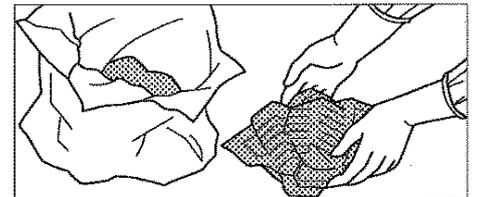
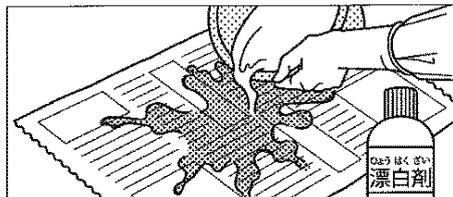
## 手順

①白衣(エプロン)、不織布マスク、ゴム手袋を装着し、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を作っておきます。

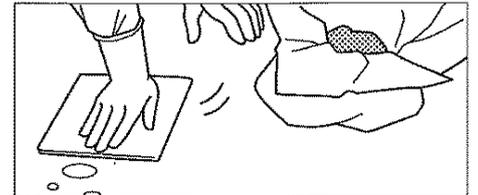
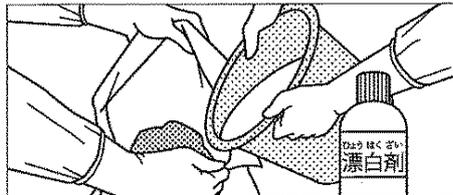


**0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液**  
次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤の成分です。漂白剤原液10mLに対し水500mLを加えることで、濃度が約0.1%になります。

②換気をして、おう吐物に新聞紙(ペーパータオル)をかぶせ、上から次亜塩素酸ナトリウム溶液を染み込ませて、おう吐物を外側から内側に向けて拭き取ります。



③おう吐物をふき取った新聞紙(ペーパータオル)を入れたビニール袋の中や、おう吐物が付いていた床を、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使って消毒します。



④床の消毒が終わったら、ゴム手袋は、付着したおう吐物が飛び散らないように裏返しに外して処分し、手を念入りに洗いましょう(次亜塩素酸ナトリウム溶液を含ませた雑巾などを10秒程度踏んで、靴底も消毒するとよいです)。

